

# 出張報告書

平成30年 9月4日

職氏名 市議会議員 恵良 健一郎	用務 男女共同参画推進フォーラムに参加
期間 平成30年 8月31日から 平成30年 9月 1日まで	出張先 国立女性教育会館 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

## 意見・調査事項

8月31日(金)

### 特別講演

13:30～15:00

「すべての男女が活躍でき、働きやすく暮らしやすい社会を創る」

講師：東京藝術大学理事 キャスター 国谷 裕子 氏

### ワークショップ

15:30～17:30

「男女共同参画の視点に立った地域づくりについて考える

～学習オーガナイザー養成研修から～

講義：「学習オーガナイザーとは」

講師：国立女性教育会館事業課長 櫻田 今日子氏

講義：「男女共同参画の視点からぶれない企画のポイント」

講師：NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか

代表理事 松下 光恵氏

### 実践報告

- ・「両河内プロジェクト&ココバス運行事業」

静岡市両河内地区連合自治会会長 中山 治己氏

- ・「男女共同参画の視点に立った地域づくりについて考える

～学習オーガナイザー養成研修から～

「学習オーガナイザー養成研修」修了生

長浜市役所総合政策部秘書課長 為永 智子氏

### グループ討議

テーマ「男女共同参画の視点に立った地域づくりとは何か？」

9月 1日 (土)

ワークショップ

10:00~12:00

「生野きらきら子ども食堂」の現状と見えてきた課題

「多世代ワールドカフェ200人会」 13:30~16:00

報告、討議

## 【所見】

特別講演では、国谷裕子氏の講演があり、クローズアップ現代のキャスター時代の経験などの話とともに、性暴力を受けたと告発した女性が逆に批判された事件や、医学部入試の際の女性への不正差別などの実例を踏まえ、日本にはいまだ女性への差別や男女間の格差が存在していることを述べられました。また、ヌエックの行った「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査研究」の数値を挙げ、管理職を目指す女性の割合が、入社年数が経つにつれてどんどん減っていく現状を伝え、男女間や世代間の意識の差を改革し、男女平等にしなければならないと述べられました。

後半では、国連が採択した2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標「SDGs」について取り上げました。「誰一人置き去りにしない」を基本方針としているSDGsを世界の基準として解説し、自治体などが、何が課題なのかを総合的にとらえ、皆で力を合わせて解決していく重要性を話されました。今のままでは世界は持続できないことを認識し、価値転換をしなければいけない、私たちは地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれないと訴え、特に日本が遅れているジェンダー平等のために、女性がより声を上げて男女の格差を是正していくことが重要だと述べられました。

ワークショップ、「男女共同参画の視点に立った地域づくりについて考える～学習オーガナイザー養成研修から～」では、男女共同参画社会の実現を推進するためには、地域課題の解決に向けて男女共同参画の視点から体系化された効果的な学習プログラムの開発・企画・展開していく人材として「学習オーガナイザー」が必要であるということから、まず、学習オーガナイザーの要件として、男女共同参画の推進意識を持って地域課題を男女共同参画の視点から整理でき、人的、機関的ネットワークを構築できること等であるが、何があってもめげない強い気持ちが非常に重要であるとの講師のお話が印象的でした。次に学習プログラムの設計図となる「プログラムデザイン」については、企画の見える化が重要であり、どのレベルのセミナーにしていくのか、全体を総括的にしたり、一部に特化したプログラムでもよい。趣旨と目的を明確にして行うことが大切であるとのお話でした。

次にぶれない企画のためには計画が肝心であるほか、現状把握、ニーズ調査、課題整理から企画の意図、目的を明確に対象を絞り込む、評価のものさしを決める等のノウハウのほか事例発表もあり、セミナー開催のあり方について、なかなか難しいが参考になりました。

実践報告では、両河内地区の中山連合自治会会長さんが、静岡市の地域デザインカレッジというセミナーに仕方なく参加したのがきっかけで、両河内地区プロジェクトやココバスの自主運行を始めた経緯を報告されました。セミナーに参加し、人口減少などの現実を目の当たりにし、何かしなければならぬと思ったそうです。人を動かすセミナー、勉強会の必要性を痛感しました。

続いて長浜市で女性就職支援事業マザーズジョブカフェや長浜女性会議を企画した為永智子さん（長浜市役所総合政策部秘書課課長、平成29年度「学習オーガナイザー養成研修」修了生）、の発表では、1つ1つ、できることから始めることとのお話が印象的でした。

生野きらきら子ども食堂のワークショップではこの2年間の行ってきた実践報告とともにワークショップを行い、課題は何か、何ができるのかについて話し合いました。

「多世代ワールドカフェ200人会」では、今若者は何を感じ、どのように生きづらさを抱えているのか、直面する社会問題について、大学生4人による報告がありました。報告内容はLGBT、障害のあるひとり親をめぐる問題、レイプドラックやデートDVの問題など、現代の社会問題やさまざまな切り口から捉えた女性問題の現状でした。その後、参加者で問題を出し合い、どのように課題解決に向けて関わられるのか、どのように社会で協働していけるか、ワールドカフェ方式で席を移動しながら参加者同士の協議を行いました。なかなか時間が限られた中でしたが、色んな意見を聞くことができ、大変勉強になりました。

男女共同参画が実現した社会とはどうゆう社会か、との問いに対し、それは誰もが自分はこのように生きたいと思う通りに生きることができる社会です、との答えがあり、なるほどと思いました。下関市において、この男女共同参画社会を実現できるよう、取り組みを進めていきたいと思えます。

# NWEC

平成30年度

## 男女共同参画推進フォーラム

つなぐ、あらたな明日へ

～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～



平成30年8月30日(木)～9月1日(土)

独立行政法人国立女性教育会館

## 特別講演

すべての男女が活躍でき、

働きやすく暮らしやすい社会を創る

8月31日(金) 13:30~15:00 講堂

### <講師プロフィール>

国谷 裕子 東京藝術大学理事  
キャスター

東京藝術大学理事、慶應義塾大学特別招聘教授、自然エネルギー財団理事、FAO(国連・食糧農業機関)親善大使(日本担当)。

大阪府生まれ。高校時代までアメリカ、香港、日本で生活。米のブラウン大学卒業。NHK「7時のニュース」英語放送の翻訳・アナウンスを担当。NHK衛星放送「ワールドニュース」キャスター。1993年から2016年3月までの23年間、NHK総合テレビの「クローズアップ現代」のキャスターをつとめる。

1998年放送ウーマン賞、2002年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞、16年ギャラクシー賞特別賞受賞、17年津田梅子賞。

主な著書に『キャスターという仕事』(岩波書店、2017年)など。

# 「男女共同参画の視点に立った地域づくりについて考える ～学習オーガナイザー養成研修から～」

平成30年8月31日(金) 15:30～17:30 研修棟1階110研修室

## 1 趣 旨

男女共同参画社会の実現を推進するためには、地域課題の解決に向けて男女共同参画の視点から体系化された効果的な学習プログラムの開発・企画をし、それを展開していくための人材としての「学習オーガナイザー」が必要です。このワークショップでは、学習オーガナイザーの役割、学習プログラムの設計図となる「プログラムデザイン」、地域づくりを進めるプログラム作りの解説を行います。そして、実践事例をもとにフロアとの意見交換を通じ、男女共同参画の視点に立った企画について考えます。

## 2 内 容

### ◆ 講義「学習オーガナイザーとは」

櫻田今日子

・「プログラムデザイン」、すなわち企画を「見える化」することの意義、学習プログラムを「オーガナイズ」することの重要性について、社会参画の視点とキャリア開発との関連性をふまえて解説します。

### ◆ 講義「男女共同参画の視点からぶれない企画のポイント」

松下 光恵

・男女共同参画の視点からぶれない学習プログラムを企画する上で必要なポイントについて、事例を踏まえて学びます。

### ◆ 実践報告

報告者：中山 治己 両河内地区連合自治会長 「ココバス」運行管理者

報告者：為永 智子 長浜市役所総合政策部秘書課課長 「学習オーガナイザー養成研修」修了生

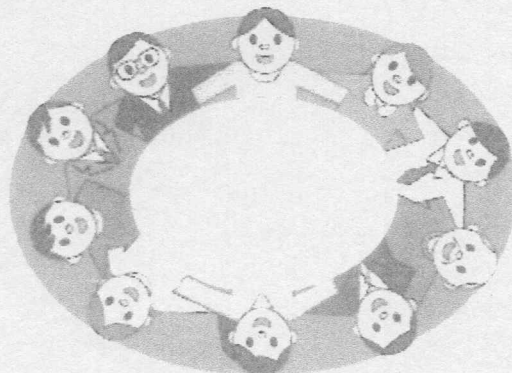
### ◆ グループ討議

ファシリテーター：西山恵美子

・テーマをもとに参加者同士で対話を深めます。

テーマ：「男女共同参画の視点に立った地域づくりとは何か？」

### ◆ まとめ



平成30年度「男女共同参画推進フォーラム」ワークショップ一覽

9月1日(土) 10:00~12:00

ワークショップタイトル 〔運営団体・グループ名〕	内容	形式	資料	会場	
「生野さらさら子ども食堂」の 現状と見えてきた課題 〔高齢社会をよくする 下関女性の会(ホーモイ)〕	子どもの貧困や虐待などの報道がなされるたびに心が 痛み、子ども達を取り巻く環境を良くするために「何かで きることはないだろうか」と考えたどりついた結論は、いろ いろな世代の人々が集う「子ども食堂」でした。	報告・討議	あり 300円	研修棟 3階	301
育自のための小さな魔法～自分 を語ることで自分を認める～ 〔特定非営利活動法人 育自の魔法〕	つい目の前のことに追われて、自分のことを脇に置いて いませんか？自分より誰か優先してませんか？自分を語 ることで自分を大事にすることを体験するワークショップ です。自分のことを語って元気になりませんか？	実技体験 対話中心 のワー クショ ップ	あり 無料		302
国際舞台でも通じるスキル・ 自信をもって話そう！ 〔特定非営利活動法人GEWEL〕	人前で話すのが苦手、自信を持って話せない、そんな女 性が多いのは日本だけではありません。世界で活躍する 女性MCから、いますぐ実践できるスキルを伝授します。 人前で話すことを一緒に楽しみましょう。	報告・討議 実技体験 ロール プレイ等	あり 無料		302
男女共同参画センター等で できること、できないこと 〔特定非営利活動法人 リソース・ エンパワメント・ネットワークREN〕	男女共同参画センターができること、最近始まったこと、 難しくなったこと、できなくなったことの情報交換しまし ょう。他地域の人とつながって、「できること」を増やすた めの知恵を出し合ひましょう。	報告・討議	あり 無料		304
「性の多様性」ってなんだろう？ ～じぶんごととして〈性〉を考 えるアクティブ・ラーニング～ 〔性教協 さきたまサークル〕	最近、身近なテーマとして目にすることが増えた「性の多 様性」。コレってなに？「LGBT」の話？いえいえ、すべ ての人に関係する話です。「性の多様性」についてワーク をしながら一緒に学び、考えてみませんか？	グループ ワークを 中心とした アクティブ・ ラーニング	あり 300円		305
女性の視点からみた町づくり 〔栄町を愛する女性の会〕	地域の女性の視点から見た町づくりを目指して活動して います。4人の講師の方々が以下の内容でそれぞれ発表 します。 ・栄町を愛する女性の会活動 ・ほのぼの、の集い ・コスプレの館 ・ドラム焼きで町づくり	報告・討議	あり 無料		306
「i SELECT SHOP by I LADY」 こころとからだ、自分を知る ～ 公益財団法人ジョイセフ	恋愛、セックス、避妊、妊娠、産む、産まない…あなた は、どのような選択をしていますか？自分を大切に、自 分で決めて行動できていますか？このワークショップで、 今一度自分自身を見つめ直してみませんか？	報告・討議	あり 無料	実技研修棟 音楽室	響書院
セルフディフェンス入門～女性の ための護身法～ 〔インパクト東京(特定非営利活動 法人ライブライツ)〕	女性による女性のための護身法ワークショップです。女 性が自分を守る為に必要なのは知識・意識・技術です。 レクチャーと実技で、暴力や侵害に対して「NO」の意 表示をする事を学びます。年齢や腕力は問いません。	実技体験 ロール プレイ等 レクチャー	あり 無料		

◆すべてのワークショップは原則無料で参加・見学できます。一部のワークショップにおいて希望者に対し有料で資料を配布しています。

◆本館1階ロビー南側：情報コーナー

参加者の皆さまが、ご所属団体のパンフレットやチラシなどの資料や書籍を自由に交換・販売するコーナーを設置しますので、ご利用ください。  
資料の運搬、陳列、金銭の取扱いなどは、各団体が責任を持って行ってください。

## 「多世代ワールドカフェ200人会」

9月1日(土) 13:30~16:00 レストランらん

---

今、若者は何を感じ、どのように生きづらさを抱えているのでしょうか。直面する社会問題について4名の若者が登壇し、発信します。その後会場の参加者も交えワールドカフェの手法を用いて、明日に向かって社会にどのように主体的に関わっていけるのか、どのように世代を超えて協働していけるのかを討議します。

報告者：春藤 優 WASEDA LGBT ALLY WEEK 代表  
／早稲田大学 GS センター学生スタッフ  
尾川 達哉 東京大学法学部3年  
川合 樹里 明治大学情報コミュニケーション学部4年  
丸山 太一 明治大学情報コミュニケーション学部3年

ファシリテーター：引間 紀江 国立女性教育会館総務課専門職員